

「書くこと」の指導における
CAN-DO リストを活用した小学校からのつながりを意識した活動（中学校）

1 単元名

NEW HORIZON English Course1 UNIT9 「Think Globally, Act Locally」

2 内容のまとめり

中学校第1学年 「書くこと」ア

3 単元の目標

身近な問題に関する事柄を多くの人に知ってもらうために、「したいこと」や「しようとしていること」について、小学校で使い慣れた表現をもとに、少しずつ幅を広げ、文の形や意味を理解しながら、正確に書くことができる。

4 単元の評価規準「書くこと」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 不定詞(名詞的用法)や look+形容詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 身近な問題に対してしたいことや、しようとしていることについて、小学校で使い慣れた表現をもとに、簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。</p>	<p>身近な問題に関する事柄を多くの人に知ってもらうために、したいことや、しようとしていることについて、小学校で使い慣れた表現をもとに、簡単な語句や文を用いて自分の思いを書いている。</p>	<p>身近な問題に関する事柄を多くの人に知ってもらうために、したいことや、しようとしていることについて、小学校で使い慣れた表現をもとに、簡単な語句や文を用いて自分の思いを書こうとしている。</p>

5 指導と評価の計画（8時間）

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

時数	ねらい（■）、主な言語活動等（丸数字）	知	思	態	評価方法
1	<p>■単元のCAN-DOリストに当たる「Step Up List」を活用し単元の目標を理解する。</p> <p>■教科書の対話文を読み、教科書本文を引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。</p> <p>①自己目標を設定する。</p> <p>②ALTとのデモンストレーションから、単元を通して行う small talkの内容を掴む。</p>	○	○		
2	<p>■教科書本文を読み、教科書本文を引用するなどしながら、したいことや、しようとしていることを表現する方法を理解する。</p> <p>①したいことや、しようとしていることをまとめた「したいことリスト」を作成する。</p>	○		○	
3	<p>■教科書の対話文を読み、教科書本文を引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。</p> <p>①教科書の対話文を読み、したいことや、しようとしていることについて尋ねたり、答えたりする。</p>	○			
4	<p>■教科書本文とは別の対話文を読み、教科書本文を引用するなどしながら、考えたことや感じたことを伝え合う。</p> <p>①各自が作成した「したいことリスト」を活用しながら、考えたことや感じたことなどをペアで伝え合う。</p> <p>②行きたい国、何がしたいかを small talk で聞き合う。</p>		○	○	
5	<p>■教科書本文を読み、教科書本文を引用するなどしながら、「…に見える」という表現方法を理解する。</p> <p>①写真やイラストを見て、look+形容詞の英文を作成する。</p>		○	○	
6	<p>■これまで学習したことをもとに、友だちにインタビューを行い、紹介ポスターを作成する。</p> <p>①「したいことリスト」を活用しながら、友だちを紹介する英文を作成する。</p> <p>②友だちの様子をlook+形容詞の用法を用いた英文で紹介する。</p>	○			行動観察 ポスター 内容分析
7	<p>■教科書の内容をもとに、身近な問題について、したいことなどを盛り込んだポスターを作成する。</p> <p>①単元を通して作成したリストを活用しながらポスターを作成する。</p> <p>②自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。</p>	○	○	○	行動観察 ポスター 内容分析
8	■パフォーマンステスト	○	○	○	内容分析

[POINT]
単元を通して SmallTalk を行います。既習表現を用いて、自分の考え等を表現したり、本時の学習につなげたりすることが大切です。



[POINT]
単元を通して身に付けた力を活用し、それぞれの課題に取り組みます。「CAN-DO Step Up List」を活用し、評価規準を明確にした上で、生徒と共有することが大切です。パフォーマンステストの作成物は、生徒がいつでも見返すことができるよう、クラウド上に保存します。



※実際の指導と評価に当たっては、他の領域（「話すこと [発表]」など）の評価規準を設定し、「指導と評価の計画」を立てることが考えられます。

「書くこと」の指導における
CAN-DO リストを活用した小学校からのつながりを意識した活動（中学校）

6 評価例

「書くこと」（知識・技能）（思考・判断・表現）

評価場面	パフォーマンステスト 活動内容：質問に答える形式で、自分の考えや意見を伝える。																		
評価方法	ワークシートの記述内容の分析																		
課題	<p>WHO(世界保健機関)から本校の1年生に向けてアンケートが届きました。</p> <p>「新型コロナウイルスが収束した後、皆さんはどこに行きたいですか。またそこで何がしたいですか。」という質問に答えてもらいます。テドロス事務局長が読めるように、英語で丁寧に書きましょう。</p> <p>裏面にアンケート用紙がありますので、そちらに書いてください。</p> <p style="text-align: center;">〔アンケート用紙〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>To Rankoshi Junior High School Students from WHO</p> <p>What's your name?</p> <p>Do you want to go abroad(海外) in the post-covid world?</p> <p>Where do you want to go in the post-covid world?</p> <p>What do you want to do there?</p> </div>																		
採点の基準	<p>「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえた以下の3つの条件のうち、2つを満たしていれば「b」とする。</p> <p>条件1：自分が行きたい場所について書かれている。</p> <p>条件2：そこでしたいこと、挑戦したいことが書かれている。</p> <p>条件3：自分の気持ちやそこに行きたい理由について書かれている。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 35%;">知識・技能</th> <th style="width: 35%;">思考・判断・表現</th> <th style="width: 25%;">主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">a</td> <td>誤りのない正しい英文で書くことができる。</td> <td>3つの条件を満たした英文を作成している。</td> <td>3つの条件を満たした英文を作成しようとしている。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">b</td> <td>誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて書くことができる。</td> <td>2つの条件を満たして英文を作成している。</td> <td>2つの条件を満たして英文を作成しようとしている。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">c</td> <td>「b」を満たしていない。</td> <td>「b」を満たしていない。</td> <td>「b」を満たしていない。</td> </tr> </tbody> </table>				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	a	誤りのない正しい英文で書くことができる。	3つの条件を満たした英文を作成している。	3つの条件を満たした英文を作成しようとしている。	b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて書くことができる。	2つの条件を満たして英文を作成している。	2つの条件を満たして英文を作成しようとしている。	c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																
a	誤りのない正しい英文で書くことができる。	3つの条件を満たした英文を作成している。	3つの条件を満たした英文を作成しようとしている。																
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて書くことができる。	2つの条件を満たして英文を作成している。	2つの条件を満たして英文を作成しようとしている。																
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。																
生徒の英文例	<u>生徒A</u> I want to go to America. I like baseball. I want to see baseball game there. And I want to try to speak English there.	<u>生徒B</u> I want to go to Tokyo. I want to go to shopping.																	
評価例	生徒A 〔知・技〕・・・a 正しい英文で書くことができる。 〔思・判・表〕・・・a 3つの条件を満たして書くことができている。	生徒B 〔知・技〕・・・b コミュニケーションに支障のない程度の英文を書くことができている。 〔思・判・表〕・・・b 〔条件3〕を満たしていない。																	

蘭越中学校 CAN-DO Step Up List 1st grade

項目	9月	10月	11月	12月	学年末
Listening 聞くこと	<u>身近な人を紹介するスピーチを聞いて内容を理解することができる。</u> 【ABC】	人に関する紹介を聞いて、基本情報やその人がどのような人かを理解することができる。 【ABC】	情報を聞いて、友達に後で伝えるべき情報を聞き取ることができる。 【ABC】	<u>好きな有名人や憧れの人についての説明を聞いて、大まかな内容を理解することができる。</u> 【ABC】	はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。
Reading 読むこと	身近な人を紹介する英文を読んで理解することができる。 【ABC】	イラストを見ながら、今していることなどについて書かれた英文を読んで理解することができる。 【ABC】	行きたいところやしたいことについて書かれた英文を読んで、内容を理解することができる。 【ABC】	<u>図や表などの情報を参考に、書き手の考えを読み取ることができる。</u> 【ABC】	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。
Speaking (Interaction) 話すこと (発表)	身近な人を紹介するスピーチをすることができる。 【ABC】	<u>今していることなどを伝える表現を用いて、写真等を見せながら人を紹介することができる。</u> 【ABC】	行きたいところやしたいことを聞いている人に伝えることができる。 【ABC】	自分の好きな人や憧れの人について紹介することができる。 【ABC】	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。
Speaking (Production) 話すこと (やり取り)	<u>自分と相手以外の人についてたずねたり、答えたりすることができる。</u> 【ABC】	今していることをたずねたり、答えたりすることができる。 【ABC】	徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。 【ABC】	好きな有名人や憧れの人についてたずねたり、説明したりすることができる。 【ABC】	関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる。
Writing 書くこと	身近な人を紹介する英文を作成することができる。 【ABC】	目的に合わせたカード(グリーティングカード等)を書くことができる。 【ABC】	<u>自分が将来行きたいところやしたいことについて英文を書くことができる。</u> 【ABC】	好きな有名人や憧れの人についての紹介文を書くことができる。 【ABC】	関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に描くことができる。